

平成31年3月期 第3四半期
決算説明会

平成31年2月1日
株式会社 **DTS**

1. データリンクス株式会社を株式会社DTSへ吸収合併

平成30年10月1日、データリンクス株式会社をDTSに吸収合併した。
業務シナジーの拡大や効率的なリソース活用の更なる推進により、経営の効率化、意思決定の迅速化を図る。

2. 自己株式の取得

平成30年5月～6月、資本効率の向上ならびに、株主へより一層の利益還元を図るため、自己株式を取得した。(約134千株、約6億円)

第3四半期 連結業績

売上高は、情報サービス業の案件拡大や組込み関連事業(車載系など)の好調で統合案件の減少をカバーし、前年同期比+22.2億円。

営業利益は、不採算案件によるマイナスは増加したものの、原価率改善などで+11.9億円の増益となり、売上高とともに過去最高更新。

(単位：億円)	実績	売上比(前年同期比)	前年同期比		業績予想に対する進捗率
売上高	628.0	—	+22.2	103.7%	72.2%
売上総利益	127.3	20.3% (+0.8pt)	+9.6	108.2%	74.0%
販管費	57.4	9.1% (△0.7pt)	△2.3	96.1%	67.6%
営業利益	69.9	11.1% (+1.6pt)	+11.9	120.7%	80.4%
経常利益	71.0	11.3% (+1.7pt)	+12.7	121.9%	81.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48.4	7.7% (+1.3pt)	+9.8	125.4%	82.8%

第3四半期 個別業績

売上高は、法人通信分野、運用BPO分野の好調で統合案件の減少をカバーし、前年同期比+9.6億円。

営業利益は、営業本部の体制強化などで費用が増加したものの、前期の本社移転費用の減少などで前年同期比+2.4億円となり、プラスに転じた。

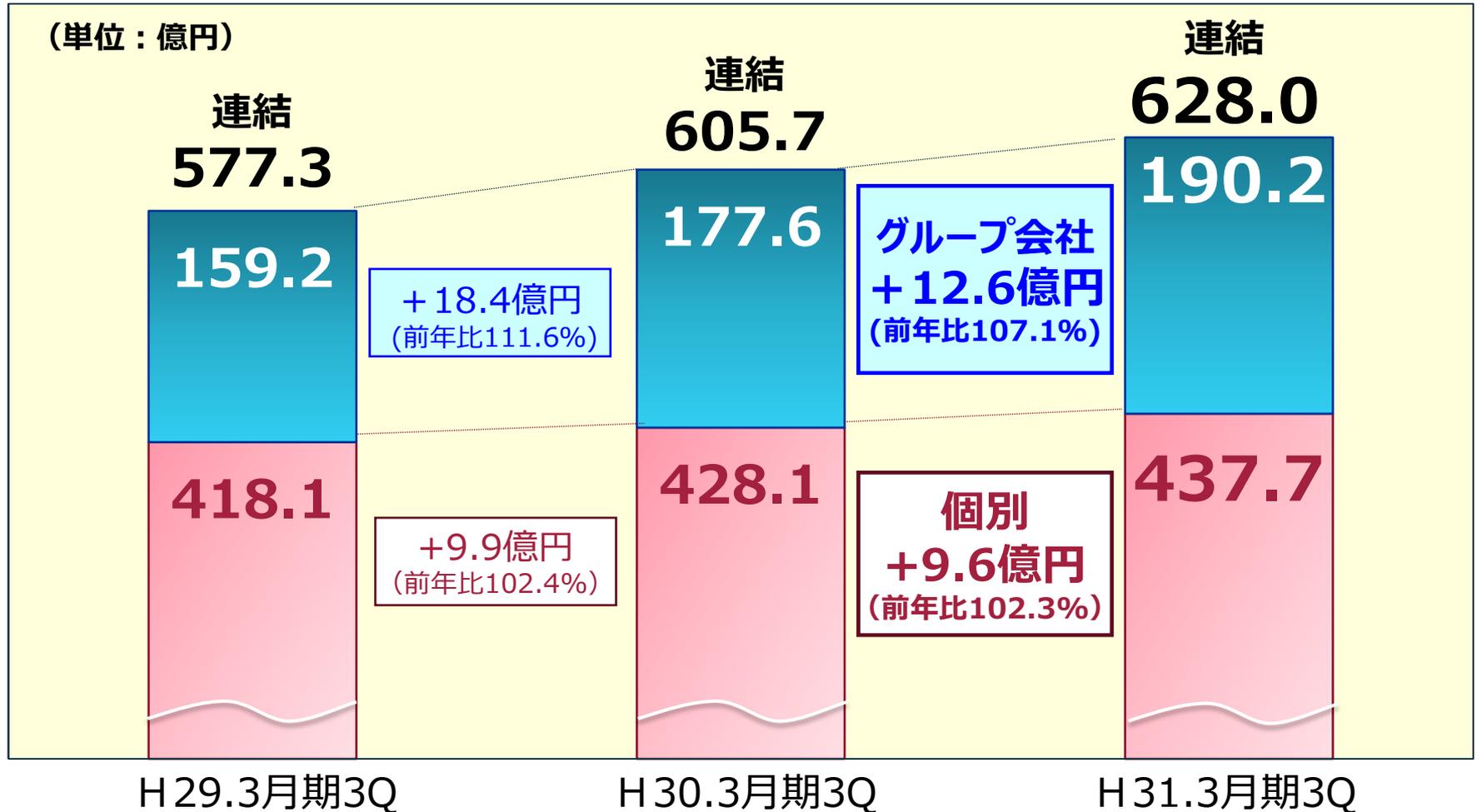
(単位：億円)	実績	売上比(前年同期比)	前年同期比		3Q会計期間 前年同期比
売上高	437.7	—	+9.6 <+21.3>	102.3% <105.1%>	+7.1
売上総利益	87.4	20.0% (+0.0pt)	+2.1 <+4.3>	102.5% <105.3%>	+2.4
販管費	34.2	7.8% (△0.2pt)	△0.3 <+0.9>	99.0% <102.7%>	△1.4
営業利益	53.2	12.2% (+0.2pt)	+2.4 <+3.4>	104.9% <107.0%>	+3.8
経常利益	57.2	13.1% (+0.4pt)	+3.3 <+4.3>	106.2% <108.3%>	+3.8
四半期純利益	41.3	9.5% (+0.7pt)	+4.0 <+4.7>	110.8% <112.9%>	+4.0

※前年同期比はデータリンクスの吸収合併影響を補正しております。<>内は決算短信と同値です。

第3四半期 売上高の推移【個別・グループ会社】

組込み案件などが好調に推移し、グループ会社全体で前年同期比+12.6億円(+7.1%)となり、2期連続で個別(DTS)の伸びを上回った。

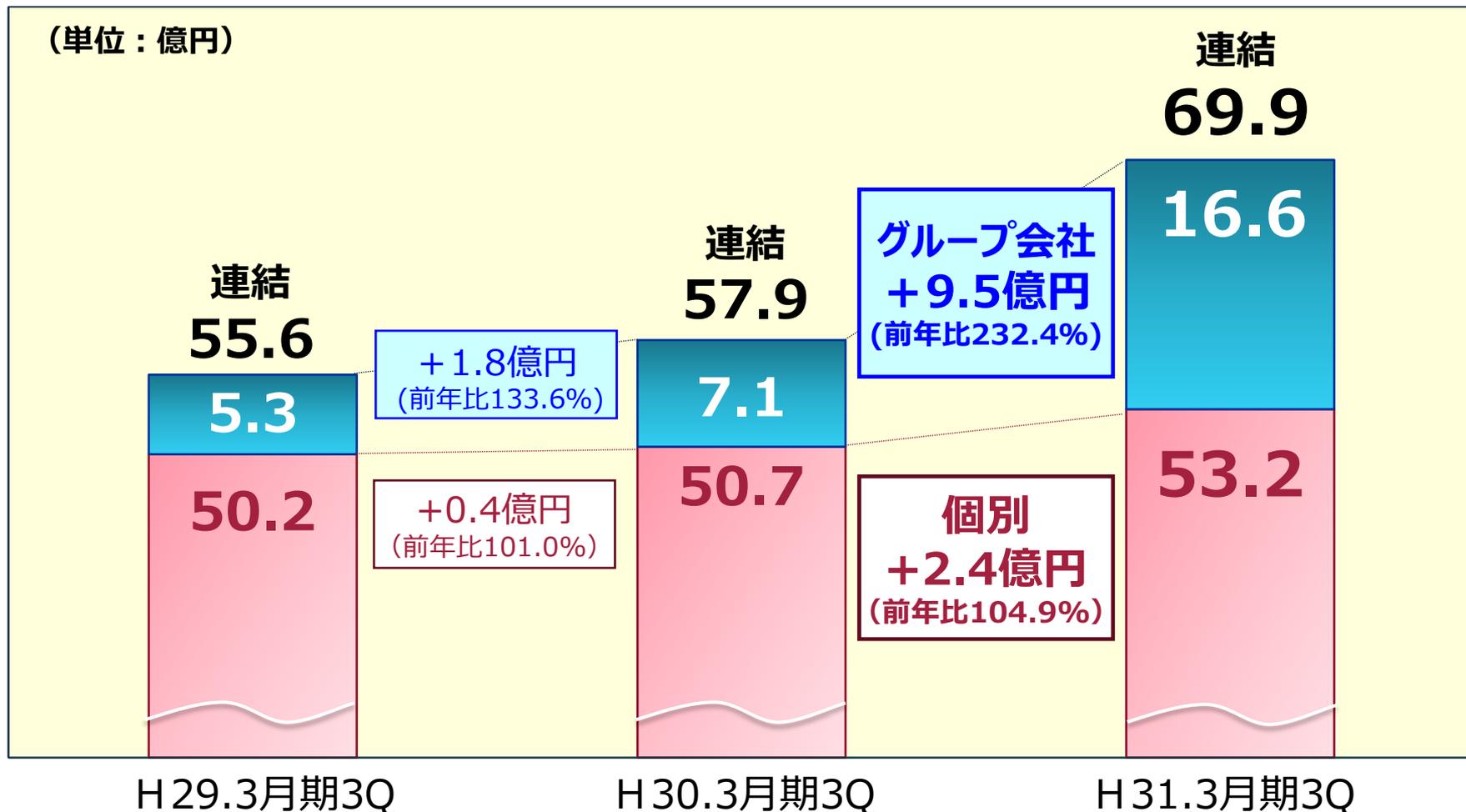
■ 個別売上高 ■ グループ会社売上高 (連結調整含む)



第3四半期 営業利益の推移【個別・グループ会社】

グループ会社営業利益は、前年同期比+9.5億円拡大し、連結営業利益の増加を牽引した。

■ 個別営業利益 ■ グループ会社営業利益（連結調整含む）



第3四半期 セグメント別 売上高

- ・金融公共セグメントでは、生保、共済などが伸長したが、統合案件の減少をカバーできず、減収。
- ・法人通信ソリューションセグメントでは、情報通信業の案件拡大や車載系、放送系などの組込み関連事業が好調に推移し、増収。
- ・運用BPOセグメントでは、生保や情報通信業での運用案件拡大により増収。
- ・地域・海外等セグメントでは、金融系ビジネスなどが好調で増収。

(単位：億円)	実績 (※)	構成比 (前年同期比)		前年同期比		業績予想に 対する進捗率
売上高	628.0	—		+22.2	103.7%	72.2%
金融公共	186.2	29.7%	(Δ3.3pt)	Δ13.0	93.4%	66.8%
法人通信 ソリューション	190.3	30.3%	(+2.5pt)	+22.0	113.1%	75.2%
運用BPO	98.8	15.7%	(+0.7pt)	+7.9	108.7%	78.5%
地域・海外等	152.6	24.3%	(Δ0.0pt)	+5.3	103.6%	72.0%

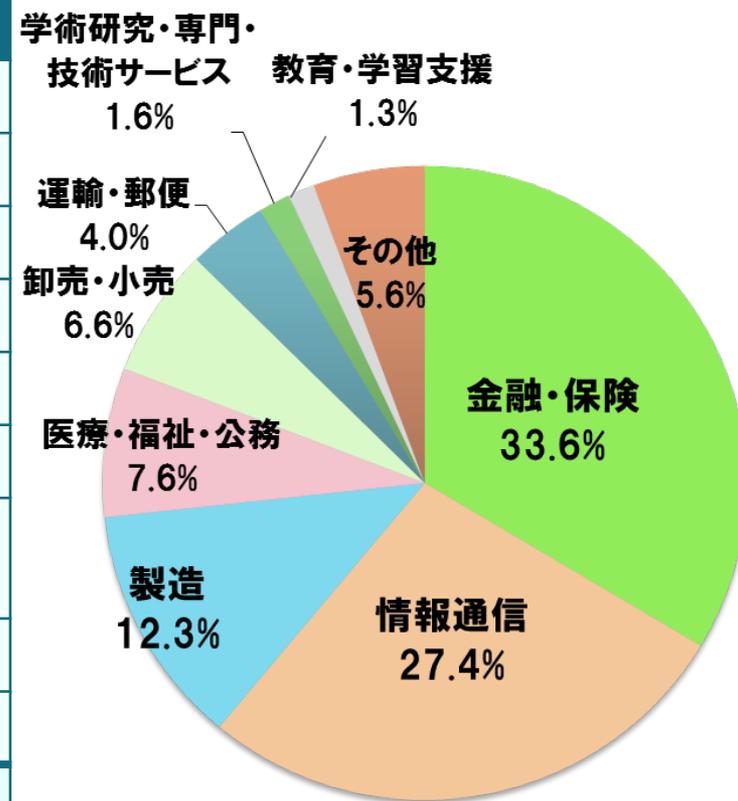
※実績はグループ外への売上高

第3四半期 エンドユーザー別 連結売上高

- ・金融・保険は、保険などが堅調に増加したが、統合案件の減少影響により減収。
- ・情報通信は、主に情報サービス向け案件が拡大し、増収。
- ・製造は、車載機器メーカーなどの好調により増収。
- ・医療・福祉・公務は、年金や共済などの案件が伸長し、増収。

経済産業省による業種分類別売上高

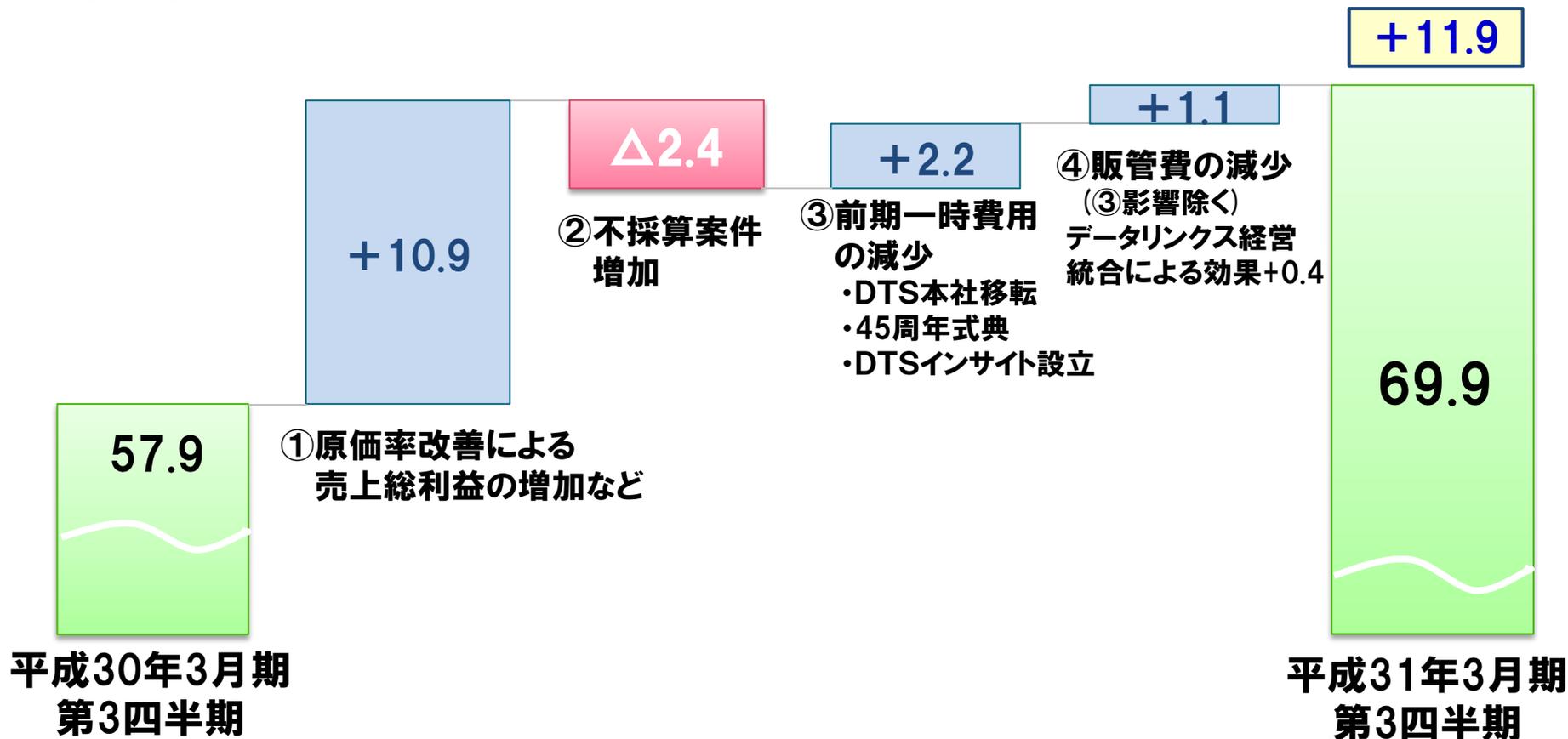
(単位:億円)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	210.9	33.6%	△5.8	97.3%
情報通信	172.3	27.4%	+7.9	104.8%
製造	76.9	12.3%	+6.3	109.0%
医療・福祉・公務	47.7	7.6%	+5.2	112.3%
卸売・小売	41.3	6.6%	+2.4	106.3%
運輸・郵便	25.2	4.0%	+3.4	115.7%
学術研究・専門・ 技術サービス	9.9	1.6%	+2.2	129.5%
教育・学習支援	8.4	1.3%	△4.6	64.4%
その他	35.1	5.6%	+5.1	117.2%
合計	628.0	100.0%	+22.2	103.7%



第3四半期 連結営業利益の増減要因

生産性向上などによる原価率の改善で、不採算案件の増加によるマイナスをカバーし、営業利益は前年同期比+11.9億円(+20.7%)となり、過去最高を達成。

(単位：億円)



【受注残高の状況】

- ・金融公共セグメントでは、証券の大型案件獲得、生保、共済の案件拡大などにより統合案件の減少をカバーし、増加。
- ・法人通信ソリューションセグメントでは、情報通信業や組込み関連が伸長。
- ・運用BPOセグメントでは、保険系案件や情報通信業の既存案件拡大で増加。
- ・地域・海外等セグメントでは、プロダクトビジネスの縮小により減少。

単位(億円、%)	受注高				受注残高			
	実績	構成比	前年同期比		実績	構成比	前年同期比	
連結	484.1	—	+28.6	106.3%	209.8	—	+19.8	110.4%
金融公共	123.2	25.4%	+3.0	102.6%	75.6	36.0%	+13.0	120.9%
法人通信 ソリューション	185.8	38.4%	+29.6	119.0%	62.8	30.0%	+7.1	112.9%
運用BPO	23.2	4.8%	+0.7	103.2%	31.4	15.0%	+1.9	106.6%
地域・海外等	151.8	31.4%	△4.7	97.0%	39.8	19.0%	△2.3	94.4%

(参考)主なプレスリリース①

公表日	会社名	タイトル・概要
2018年		
8月3日	DTS	<p>「当社連結子会社であるデータリンクス株式会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」</p> <p>※平成30年10月1日付で、データリンクス株式会社を株式会社DTSへ吸収合併することを決定。</p>
9月21日	DTS	<p>住空間プレゼンテーションCAD「Walk in home」待望のリニューアル</p> <p>※「Walk in home」の機能を大幅に刷新したリニューアル版の販売を開始。</p>
10月4日	デジタルテクノロジー	<p>タイダルスケールと販売代理店契約を締結</p> <p>※デジタルテクノロジーはタイダルスケールの国内初の販売代理店となり、製品の販売・導入・保守を提供。デル社のサーバーとタイダルスケールのSoftware-Defined Serverソリューションで民間企業、研究機関、DC/クラウド事業基盤を中心とした新規市場を開拓する。</p>
11月27日	DTS	<p>法定/仮想通貨対応の「AMLion(アムリオン)」を販売開始</p> <p>※マネー・ローンダリング対策製品「AMLion(アムリオン)」を11月27日より販売開始した。AIを活用した高度なKYC(顧客確認)により厳格な顧客管理を実現し、過去の取引や各金融機関に蓄積された独自ルールに基づいて顧客単位で“疑わしい取引”を検出することが可能。</p>
2019年		
1月15日	DTS WEST	<p>多言語音声合成ソリューション「kotosora voice」の無償提供を開始</p> <p>※国内の公共機関、民間企業を対象に多言語音声合成ソリューション『kotosora voice(コトソラ・ボイス)』の無償提供を2019年1月中旬から開始。kotosora voiceはウェブサイト上で文章を入力するだけで簡単に音声ファイルを作成することが可能。</p>

(参考)主なプレスリリース②

公表日	会社名	タイトル・概要
1月16日	DTS インサイト	Arm®純正の最新組み込みソフトウェア開発ツールスイート 「Arm Development Studio」の販売及びテクニカルサポートを開始 ※アーム株式会社 (Arm) の国内正規販売代理店として新製品「Arm Development Studio」の販売及びテクニカルサポートを2019年1月7日より開始。 Arm Development Studioは、あらゆるArmプロセッサの組み込みソフトウェア開発に必要な機能を包括的に統合しており、堅牢で効率的な組み込みソフトウェア開発を支援するツールスイート。
1月28日	DTS	AI基盤を活用したデータ分析プラットフォーム 「DAVinCI LABS(ダヴィンチ・ラボ)」を国内で初めて提供開始 ※韓国大手フィンテック企業のDAYLI Financial Group Inc.傘下のDAYLI Intelligence Inc. と提携し、同グループ会社のSolidware Co.,Ltd. が保有する「DAVinCI LABS」を国内で初めて販売開始。業務知識があれば現場の担当者でも簡単にAIを活用したデータ分析業務が行え、全社的にAIの適用を推進していくことが可能。
1月28日	DTS インサイト	フラッシュマイコンへの書き込み時間を大幅に短縮 新製品フラッシュオンボードプログラマ「NETIMPRESS avant」の販売を開始 ※車載ECU製造ラインで幅広く使われているフラッシュオンボードプログラマNETIMPRESSシリーズの最新モデル「NETIMPRESS avant」を、2019年1月29日より販売開始。 「NETIMPRESS avant」は、大容量化するフラッシュメモリ内蔵マイコンに対応するため、従来製品の4倍の通信ボーレートを実現し、最大40Mbpsでの書き込みを実現。2chのプロブコネクタを装備しており、複数デバイスを搭載するECUにプロブケーブルを切り替えることなく、シーケンシャルに書き込みを実行することが可能となった。

平成31年3月期 第3四半期 決算説明会 ご清聴ありがとうございました

新たな価値を創り出す

MADE BY DTS Group



本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。